

指定管理者の管理運営評価表

(令和7年度)

施 設 名	五泉市障害者地域生活支援センター こすもすの家	担 当 課 名	健康福祉課
指定管理者名	株式会社 まごころネット		

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
公平性 透明性	市民の平等な利用が確保されること。	「市民の平等利用が確保されること。」に対する基本的考え方(理解度、取組姿勢など)	施設の設置目的である「障がい者が地域で基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活及び社会生活を送ることができる」ことを理解し、事業運営を行っている。 放課後等デイサービスについて、学校の長期休暇中の利用者が多く、個別対応の難しい面もあるが、サービス水準を維持できるように、課題の把握に努めながら運営している。	A
		平等利用を確保するための体制が確立されていたか(モニタリングなど)	月1回開催される職員会議や毎日の朝礼時に、事業運営上の課題や問題点を職員間で共有し、解決に向けた取り組みをしている。個別支援の際も情報共有に努め、適切な支援に心がけている。	B
		個人情報の保護、情報公開、広報の方法などが適切に図られていたか	五泉市個人情報保護条例に規定する内容を年1回の内部研修を通じて遵守するよう徹底している。 情報公開や広報については、機関紙発行や公式 LINE の活用により、積極的な発信に努めている。なお、令和8年度からホームページで活動状況などを公表できるよう準備を進めた。	A
		その他管理者の提案によるもの	—	—
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用(設置目的)を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること	「事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限に発揮するものであること。」に対する基本的考え方(理解度、取組姿勢など)	設置目的である「障がい者が地域で基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活及び社会生活を送ることができる」ように、障がい者(児)の個別支援の充実に努めている。	A

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
効果性 効率性	事業計画書の内容が、指定施設の効用(設置目的)を最大限に発揮し、その管理の効率性が図られるものであること。	業務の改善や工夫は十分であったか また、再委託する業務の内容及び委託先の妥当性はあったか	感染症などの理由により他事業所が受け入れられない利用者を受け入れるなど、利用者の立場で臨機応変な対応を行っている。また、再委託の内容は適正である。	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策は確立されていたか	利用者の家族向け説明会の開催や日常的な相談受付けを行い、ニーズ把握に努めている。 苦情解決責任者及び第三者委員を設置し、苦情対応体制を確立している。	A
		利用者に対するサービス向上の方策が図られていたか	必要に応じて支援会議を開催し、利用者の支援内容や方策などを検討のうえ、サービスの向上に努めている。	A
		利用の促進、利用者増の方策が図られていたか	「放課後等デイサービス」について、市内小学校等に情報提供を行っている。	A
		サービスの質を確保するための方策が図られていたか	緊急利用があってもサービスの質の確保に努めている。	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置であったか	有資格者 1 人増員(パート職員)するなど、利用者の利用状況に対応した職員配置がされている。	A
		「事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること。」に対する基本的考え方(理解度、取組姿勢など)	照明・冷暖房についてこまめにチェックし、可能な限り直営で修繕等の対応を行うなど、管理経費の縮減に努めている。	A
		指定管理経費に妥当性があったか(サービスとコストのバランスなど)	管理委託業務が適切に実施されている。	A
		収支計画に妥当性があったか	最近の物価高騰等の影響を考慮し、収支計画の見直しを行った。	B
		管理経費縮減の具体的方策が取られていたか	最近の物価高騰の中、光熱水費(電灯の間引き)や簡易な修繕は職員で対応するなど修繕費用等の節減に努めている。	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策が取られていた	セルフモニタリング等によりサービスの向上を図ることで、障害者サービス事業の収入安定化に努めている。	A
		その他管理者の提案によるもの	—	—

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有していること。	「事業計画書に沿った管理を安定して行う人的能力、物的能力を有していること。」に対する基本的考え方（理解度、取組姿勢など）	事業計画に沿った人員配置がなされている。 支援に使用する備品等については、寄附や中古品の活用など工夫している。	A
		公の施設に必要な管理能力を有していたか（組織及びスタッフの経歴、保有する資格、ノウハウ、専門的知識など）	令和7年4月に施設長が交代したが、前施設長が臨時職員として残留し、引き続きを行うことにより支援体制を整え、概ね適切な支援を行っている。	B
		経営基盤の安定性が確保されていたか	地域生活支援センター業務のほか、「放課後等デイサービス」や「日中一時支援事業」を実施することにより、経営基盤の安定性は概ね確保されている。	B
		スタッフ等の管理、監督体制が確立されていたか	本部と施設長が密に連携を取ることで、施設長によるスタッフの管理・監督体制は確立している。	A
		スタッフ等の人材育成の方策が確立されていたか	施設長を中心としたOJTによりスタッフの育成が確立されている。また、市内関係機関との研修会等に積極的に参加している。	A
		リスクへの対応策が確立されていたか（防止策、非常時の対応マニュアル等）	休日や早朝・夜間の施設管理はセコム上信越に警備委託し、緊急時は連絡網により緊急体制を整えている。 防災・地震・風水害などに備えて、それぞれ対応マニュアルを作成し、災害時に備えている。 避難訓練は年2回実施し、全職員に対して救命講習も実施している。	A
		リスクへの対応能力は十分であったか（資金力、損害賠償能力など）	利用者に事故が起こった際の賠償責任保険に加入しており、万が一に備えた損害賠償能力は十分あった。	A
		グループ応募の場合、グループの安定性は確保されていたか	—	—
		グループ応募の場合、役割分担及びリスク分担などの確実性及び妥当性が確保されていたか	—	—
		その他管理者の提案によるもの	—	—

区分	選定基準	評価項目	具体的業務要求水準	評価
貢献性	事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものでありこと。	「事業計画書の内容が、五泉市の振興・活性化に貢献できるものであること。」に対する基本的考え方(理解度、取組姿勢など)	地域のボランティアから協力を得ながら、事業を実施している。 また、年2回ごみ拾いを行い、地域へ貢献している。	A
		地元法人その他の団体の育成について、積極的であったか	ボランティアや実習の受け入れを募集している。	B
		地元住民、高齢者、障害者等の雇用について、積極的であったか	施設援助員として、高齢者等を含め地元住民を雇用している。(11人中8人市内在住者)	A
		地元での資材等の調達を積極的に行っていたか	施設修繕等は、地元企業をお願いしている。	A
		その他管理者の提案によるもの	—	—

■総合評価（コメント）

- 1 指定管理者制度の重要性を理解し、効果的な施設管理を実施している。また、障害福祉に関するノウハウと熱意があり、「障がいがあっても、高齢になっても生まれ育った地域の中で自分らしく人生を楽しみ、安心して一生を過ごすことができるよう、まごころと思いやりを基本とした事業運営を図る」との事業者の基本理念に基づき、事業運営は良好に実施されている。
- 2 日中一時支援事業や放課後デイサービス事業については、高等部卒業後の支援が必要な方や障がい区分の重い方の利用が増えているなど対応困難な場合や課題もみられるが、限られた予算・人員の中で、工夫しながら事業を行っていた。
- 3 利用者の家族との交流会を設けるなどニーズ把握に努めるとともに、定期的な機関紙の発行や LINE の活用を通じて、積極的な情報公開・広報活動をしていた。
- 4 障がい者の特性や施設の状況について、近隣住民宅を訪問し、チラシを配布するなど地域から理解が得られるよう努めていた。